



“Future of Multichannel Audio”
多チャンネルオーディオの可能性

AES ジャパンコンファレンス・仙台 2012

AES Japan Section Conference in Sendai, 2012

コンファレンス開催および技術発表募集のご案内

2012年10月9日（火）～11（金）

せんだいメディアテーク（宮城県仙台市）

AES 日本支部
Audio Engineering Society Japan Section

AES ジャパンコンファレンス・仙台 2012

開催のご案内

平素は AES 日本支部の活動に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、日本支部では、来る 2012 年 10 月 9 日(火)より 11 日(木)まで、「AES ジャパンコンファレンス・仙台 2012」を、せんだいメディアテークにて開催するはこびとなりました。

ご承知のとおり、AES(Audio Engineering Society)は、1948 年に設立されたオーディオ技術に関する国際的組織であり、オーディオ技術に関連した研究者からソフト制作エンジニアまで、様々な分野及び職種から 14,000 名を超える専門家が世界各国より参画しています。AES 日本支部は、AES の極東における最初の支部として 1952 年に設立されて以来、常にプロオーディオ技術の研究、開発、普及活動を行ってまいりました。その一環として 1985 年より 2009 年まで「AES 東京コンベンション」を隔年開催しておりました。一方 2006 年からは、地方を含め全国的にオーディオ技術の最先端についての情報交換の場を提供すると同時に、AES の活動に対する理解を広げていくことを目的として、隔年程度で「AES ジャパンカンファレンス」を開催しております。「東京コンベンション」は、機器展示やプロダクトセミナー等関連企業各位の出展イベントを含む大規模なイベントですが、「ジャパンコンファレンス」では、ワークショップや技術発表を中心とし、企業パネル展示および簡易なプロダクトセミナーを含むオーディオ技術の情報交換の場となることを目指しております。

今回のジャパンコンファレンス・仙台 2012 のテーマは、「多チャンネルオーディオの可能性 “Future of Multichannel Audio”」です。近年のオーディオハードウェアとソフトウェアの発達により、サラウンドフォーマットを超えた新しい多チャンネル空間収録、音響合成、音場再生が可能となりつつあります。東北大学電気通信研究所の先端的な研究施設へのテクニカルツアーも含め、今後の多チャンネルオーディオ技術の進化と普及、そしてテーマに関わらず様々なオーディオ技術に関する議論と情報交換を進めていきたい所存であります。

つきましては、是非みなさまの積極的なご参加・ご協力をお願い申し上げます。

AES 日本支部

支部長 西村 明

AES ジャパンコンファレンス・仙台 2012

実行委員長 岩谷 幸雄

I. 開催概要

1. 名称

AES ジャパンコンファレンス・仙台 2012

AES Japan Section Conference in Sendai, 2012

2. メインテーマ

多チャンネルオーディオの可能性

Future of Multichannel Audio

3. 会期

2012年10月9日（火）から11日（水）

（10月9日はテクニカルツアーのみ）

4. 会場

せんだいメディアテーク（宮城県仙台市青葉区）

5. 主催

AES 日本支部

6. 連絡先

AES 日本支部 コンファレンス係

E-mail: conf2012-office@aes-japan.irg

URL: <http://www.aes-japan.org/>

〒164-0013 東京都中野区弥生町 2-19-9

Tel: 03-5358-7320, Fax: 03-5358-7328

II. 技術発表募集

本コンファレンスでは、オーディオ技術に関する技術発表を募集いたします。発表はポスターセッションにより行い、十分な討論と情報交換の場を提供いたします。また、予稿集 CD-ROM は技術発表参加者だけでなく来場者全員への頒布を予定しており、情報発信にも格好の機会かと存じます。是非ご発表を検討いただきますようお願いいたします。

技術発表委員長

丸井 淳史

1. 募集技術分野

音響機器、室内音響、心理音響、番組制作技術、デジタル信号処理・伝送、マルチチャンネルオーディオ、ハイレゾリューションオーディオ、ネットワークオーディオ、ゲームオーディオなど、最新の音響・オーディオ技術を基礎研究から現業技術まで幅広くご紹介頂きたいと思っております。テーマに関わる内容以外の技術発表も歓迎いたします。

発表申込締め切り：別紙の申込書を使い 2012 年 6 月 14 日(木)までに conf2012-papers@aes-japan.org までメールにてご提出ください。

2. 発表採用のご通知

発表の採否を決定し 6 月 21 日(木)までにご通知申し上げます。

3. 予稿

ご発表をお願いする方には予稿をご用意いただきます。

予稿締め切り：7 月 31 日(火)

予稿作成要領は後日お送りいたします。予稿集は CD-ROM のみといたします。ページ数の制限はございません。日本語あるいは英語による投稿をお願いいたします。提出していただきました予稿につきましては、約 1 ヶ月の間、内容の確認をさせていただきますが、必要に応じて、原稿の修正をお願いすることがあります。

4. 発表

全てポスターセッションといたします。1~2 時間程度のコアタイム（発表者立ち会い必須）および、1 人 2 分程度のショートショートプレゼン（概要発表）をお願いいたします。なお、学生による発表には学生アワードを選考し、AES 日本支部より表彰いたします。対象となる発表は、筆頭著者が 2012 年 10 月 10 日時点で AES 会員（会員 種別は問いません）であり、かつ国内外の学校機関にフルタイムの学生として在学中あるいは卒業後 1 年以内であるものとします。なお、代理発表は対象外とします。

5. 発表に関わる料金

ご発表者には参加費として、規定の入場料をお支払いいただきます。予稿集 CD-ROM は参加費に含まれております。

6. その他注意事項

発表内容について

ご発表頂く内容は、未発表のものであり、発表者（共同執筆者を含む）固有の研究によるものとします。発表に関わる他者の特許、著作権、著作権等に関しては、発表者により事前に処理済みであるものとしてください。

特許申請について

本発表会は、特許法第 30 条等（新規性の喪失の例外）が適用されません。ご発表の一部もしくは全ての内容を対象とした特許申請をお考えの方は、十分注意をお願い致します。なお、予稿集の発行日は 2012 年 10 月 9 日（カンファレンス開催日）となります。

7. 発表申込方法

別紙申込書にご記入の上、下記宛てにお送りください。

Email: conf2012-papers@aes-japan.org

締め切り 2012 年 6 月 14 日（金）必着

III. 開催組織編成

■ AES ジャパンコンファレンス・仙台 2012 実行委員会

委員長 岩谷 幸雄 (東北学院大学)

副委員長 西村 明 (AES 日本支部長・東京情報大学)

同技術発表委員会

委員長 丸井 淳史 (東京芸術大学)

副委員長 坂本 修一 (東北大学)

委員 Sungyoung Kim (ヤマハ株式会社)

AES ジャパンコンファレンス・仙台 2012
技術発表申込書

本申込書は、「<http://www.aes-japan.org>」からもダウンロードできます。

この申込書は2012年6月14日（木）までにAES日本支部コンファレンス係に必着するようにメールでご提出ください。

AES 日本支部 コンファレンス係

E-mail: conf2012-papers@aes-japan.org

URL: <http://www.aes-japan.org/>

〒164-0013 東京都中野区弥生町2-19-9

題 目	英 語	
	日本語	
要 旨		
日本語 100 字以内, もしくは英語 120word 以内		
発表者 (筆頭者)	ふりがな	
	日本語	
	英 語	
共同執筆者	ふりがな	
	日本語	
	英 語	
所 属	日本語	
	英 語	
連絡先	〒	
	住所	
	TEL	
	FAX	
	E-mail	
著作権の委譲	<input type="checkbox"/> AES 日本支部に著作権を委譲する	

【注】 申込書は控えを手元に保管しておいて下さい。